

各プロジェクトチームの活動経過

つながる・ひろがる協働まちづくり円卓会議

まちづくりプロジェクトでは、防災プロジェクトと見守りプロジェクトにおいて行政、関係諸機関・組織をつなぎ協働のネットワークを構築するために、円卓会議を推進してきました。

防災円卓会議では、自治会から避難や安否確認の課題が出され、行政、消防、防災士と連携してDIGなどの出前講座(防災プロジェクト)や早急に地域に即した防災(避難)マニュアル作りに取り組んでいます。

31年2月には、3学区共催で防災講座を開催することになりました。

見守り円卓会議では、日常の見守りの中で生活の困りごと支援や交通弱者の移動支援に

ついても話題になり、新たに交通弱者円卓会議を立上げ、買物支援と病院送迎支援について検討しています。

9月11日には、見守り・移動支援を課題に高島市へ研修に行きました。また、大原地域における見守り・支え合いのあり方を検討すべく地域で聞き取りアンケートを実施、主催する甲賀市社会福祉協議会と連携して8月より生活支援ボランティア講座を開いています。



防災プロジェクト

- 6月18日、櫛野区、公民館を会場に、防災講座が開催されました。
- 8月3日、拝坂区、草の根会館を会場に、区民による防災研修会(DIG)が開催されました。
- 8月19日、相模区、公民館を会場に、「迫りくる災害に備える」研修会が開催されました。
- 9月9日、大原市場区、公民館を会場に、防災DIG出前講座が開催されました。



若者プロジェクト

7月8日、夕涼みマルシェが鹿深夢の森で夕方4時から開催されました。多くの来場者で賑わいました。



8月5日、ござれGO-SHU!との同時開催の夏を彩るマルシェが鹿深夢の森で夕方4時から盛大に開催されました。



編集後記

暑かった夏も過ぎ、秋涼を待つこの頃です。身近に感じていただける広報紙にしていきたいと、一層充実した紙面づくりに努めてまいりますので、皆様方のご協力をお願いいたします。



ホームページ
QRコード

新しい地域コミュニティ組織



おおはら

<http://oohara.ikoka.jp>

VOL.
28

発行日
平成30年9月
発行
大原自治振興会
甲賀市甲賀町相模 173-1
TEL&FAX.88-3111



夏休み子ども広場



みんなと過ごした夏休み、思い出が増えました。主催：かむら子ども育ちの会

京都府宮津市の災害ボランティア活動、現地で学び受けるもの

今年の6月下旬からの西日本豪雨で、西日本は甚大な被害を受け、京都府北部も観測史上最大の降雨量を記録、洪水・土砂災害を受けました。

大原自治振興会では、7月18日、滋賀県社会福祉協議会、滋賀県災害ボランティアセンターの被災地支援ボランティア募集で、2名が参加する機会を得、海に面した地域で山からの土砂災害の応急対策活動をしました。

当地は、広島県や岡山県にみられるような甚大な災害に襲われたような被災はなく、重機がすぐに来ないようでした。ボランティア活動はこのように所に求め

られています。

土砂を撤去しても川からの水が止まない問題に、上流で川を分岐させたらという提案でみごと解決！人海戦術による土砂の撤去だけでなく、三人寄れば文殊の知恵で川の水流を変えることができた応急措置でした。

災害ボランティアの活動内容はさまざま、床下の泥掻き、公文書の清浄、家族の写真取捨、被災された方から困りごとの聞き取りなどがあります。被災地で受けた凄まじい被害状況、それに押しつぶされる人・立ち上がる人などから現地で直接受ける衝撃は、私たちの支援活動量の比ではありません。災害ボランティア活動は、防災に加え、助け合い、寄り添うこと、家族や地域社会の絆など、私たちの日常生活を考える機会でもあり、支援よりも現地から受けるものが絶大です。 防災士



泥より人を見よ！

被災地支援ボランティアに参加して

西田 恒夫

7月18日、先の西日本を襲った被災地を初めてボランティアとして参加しました。行先は、京都府宮津市池ノ谷地区に45名が9グループに分かれ、各担

当部所で被災家屋等のボランティア活動に取り組みました。土砂の流出による車庫に堆積した泥等、除去作業を1日でしたが何とか終わることができ、家主さんから感謝され、良い体験をしました。自然災害の怖さを現地で知ることが出来、災害に如何に備える事が出来るのか考えさせられる1日でした。